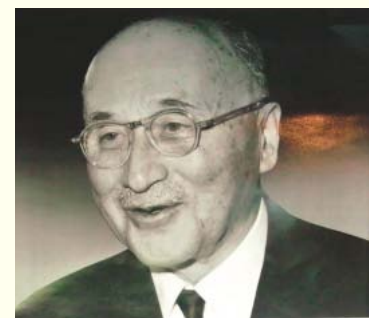




from PARIS

欧州の父「ジャン・モネ」の家



« Nous ne coalisons pas des États,
nous unissons des hommes. »
„Wir bilden keine Koalitionen von Staaten,
sondern wir vereinen Menschen.“
“We are not creating an alliance of States,
we are uniting people.”

ジャン・モネ

ジャン・モネの家

モネといえば睡蓮で有名な画家のクロード・モネをご存じの方が多いと思いますが、当地では、今年、欧州を巡る問題に注目が集まる中で、欧州の父と当地で呼ばれているジャン・モネ（フランスの実業家・政治家；1888～1979）の名前を見聞きする機会が増えています。特に「欧州は、危機を通じて形成され、危機に対する解決策の積み重ねとして構築されていく」というモネの言葉は、さまざまな場面で引用されています。

今も当地の人々に語り継がれるジャン・モネとはどのような人物だったのかに興味を持ち、パリ市内から車で1時間弱、麦畑と森に囲まれた Houjarrey という小さな村にあるジャン・モネの家を訪ねてみました。モネは、自然豊かなこの地が気に入り、毎朝、出勤前に近所の森を散策することを日課としていたそうです。

モネは、欧州統合に向けた大きな一歩となるシューマン・プランを、この家で練り上げました。書斎に陳列された本書の写しをみると、冒頭に「第9稿」という記載があり、モネが丁寧に推敲を重ねた様子が伝わってきます。1950年にシューマン外相により発表

された同プランは、争いが繰り返された欧州で平和を維持するため、欧州連邦の構築を目指すべきとして、その第一歩となる独仏の石炭・鉄鋼の共同管理を提案。これは、国家間の対立の主な原因が経済問題であったことも踏まえ、それまで争いを重ねてきた独仏両大国が中心となって、当時の経済・軍事上の最重要資源であった石炭・鉄鋼を共同管理する画期的なアイデアでした。同プランは、1952年、現在のEUにつながる最初の組織となる、欧州石炭鉄鋼共同体（ECSC）の設立というかたちで結実します。モネは、ECSCの最高機関の初代委員長を務めました。

欧州統合についてモネは、「私たちは、国家間の同盟を作っているのではなく、人と人を結び付けているのだ」と語っています。現在、欧州議会が欧州共通遺産として所有・保存しているモネの家は、モネの言葉や足跡の紹介を通じて欧州の父の想いを伝える場となっており、さまざまな国からの訪問者を毎日受け入れています。

（日本銀行パリ事務所）